



# All Rikkyo Tennis

## セントポールテニスクラブ会報

発行所  
セントポールテニスクラブ

発行人 梅田 憲 司  
原田 豊

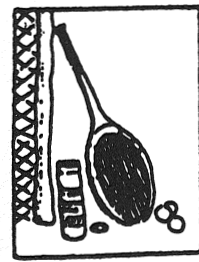
# リーグ戦 2002年より夏(8月)開催決定!!



### 「女子二部降格、男子三部昇格ならず」

本年度のリーグ戦において男子部は三部昇格を目標にのぞみましたが、結果は四部四位に終わりを入替戦に進むことは出来なかった。来年度も部員減少という逆境のなか昇格を目指した現役の頑張りに期待したい所です。

念ながら二部降格となった。三年間一部で戦った経験を生かし、来年度の一部復帰を期待します。引き続き来年度もOB OGの方々のご支援をよろしくお願いいたします。なお、来年度よりリーグ戦の日程が変更され八月下旬に開催されることになりました。



### 「部長からのご挨拶」

テニス部長  
淡路 剛久

本年6月から、前部長としてご活躍、ご貢献いただいた栗原謙二先生の後を承けて、テニス部長を託されています。現在、学部長でもある関係等で何かと時間が無く、部長としてすべきことや、したいことをできないでいること、心苦しく思っております。至らない点を、前部長の栗原先生、副部長の舟田先生に補っていただいております。感謝いたしております。

### 「平成十三年リーグ戦を振り返って」

男子監督 鷺田 典之

リーグ戦直前にNO1の和田(関東学生資格)が退部、更にレギュラー候補の飯島が休部という事態が起こり、今年のリーグ戦は大変苦しい戦いになる事が予想されました。特にダブルスに大きな影響が出てしまい、ダブルスをどう強化するかがポイントでした。

リーグ戦前の一次合宿では、スマッシュを打てない、ロブを上げられない、レシーブでストレータアタックできない、ストレータアタックされたら返せないという状態でした。二次合宿終了時点でかなり改善されたものの、不安が残る中でリーグ戦がスタートしました。結局、ダブルスでリードできたのは、第四戦の対学習院大戦のみで、シングルスでは、東大に4対2、学習院大に5対1、上智大にも3対3だった事を考えると、やはりダブルスがキーポイントだったと思います。

残念ながら、2勝3敗の4位という結果に終わる、今年4部残留という成績でした。来年はダブルスを強化して、3部昇格を果たしたいと思えます。部員数が試合可能最低人数の6人ですが、全員一致団結して努力致しますので御支援御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

### 「やる気を引き出して」

女子部監督 鈴木 宏

平成十三年度のリーグ戦も強豪の一部でプレーでき部員一同OB会の諸先輩方に心から感謝申し上げます。結果は一部六位、入替戦は僅差で東海大に敗れ来年は二部でスタートしますが、一部で経験した財産を活かし、すぐに復帰を果たすとともに、個人戦にても立教大学の名前を残すようにしたいと思えます。

部活動の現状は男子部同様に部員確保が大きな問題ですが、体育会である以上は勝負にもこだわりの戦績も向上したいと考えます。学生達にはテニス部活動を続けながら学生生活をエンジョイするには、やはり自分自身で努力するしかありません。そのためには常に高い目標を持ち達成できるように頑張りたいと思います。



諸先輩には皆様の体験を通して「自分で掲げた目標を達成できたなら、貴女の学生生活や人生が素晴らしい幸せもふえますよ」と話しかけてほしいと思えます。昔のように精神論やスパルタが通用する時代ではなく、部員達が自主的に目標を達成するために日々の練習やトレーニングにチャレンジするという環境を作り上げていかなくてはと感じています。

四年生は引退しましたが、ニューフェイスも加わりました。テニス経験が少ない者が多いのですが、その進境たるや著しいものがあります。広瀬主将が率いる精鋭メンバーは秋から対抗戦や練習試合を重ね、来年のリーグ戦に向けて経験を積んでいる途中です。諸先輩方は是非新座や富士見に足を運び、学生達のやる気を引き出してあげてください。

### 第六回総会 開かれる

去る六月十六日(土)、セントポールテニスクラブ第六回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席をいただき、日比谷松本楼にて開催されました。会計報告、予算、事業計画など慎重な審議がおこなわれ、平成十三年度のクラブ運営がスタートされました。総会の後は、現役学生幹部も交え懇親会が開かれました。

以下に総会の決定事項をご報告いたします。

#### 会長挨拶

#### テニス部存亡の危機

S 36年卒 山中 博司

明年度部員の数が揃わずリーグ戦に出場できるかどうか不安の毎日である男子部の現状をどう考えたいのか。

数年前、明治大学テニス部が同様の状況にありました。九州出身の明大テニス部OBの坂田君が上京し、母校明大テニスコート(八幡山)で練習するので付き合ってくれとの事。何十年振りでしたが、テニスをする機会を得ました。当日、八幡山のあの懐かしいコートで我々を迎えてくれた部員は四人でした。その内一人はマネージャーでした。



あの部室、あのコート、歴史がそこに残っています。何ともお気の毒に思っていました。今我々立教大学体育会テニス部がその時の状況下にありません。相手をしてくれたい。三人のレギュラーの顔は今でもはっきり思い出せます。真剣に非常事態に対応された学生、OBの皆様、力で見事に明大は伝統を受け継いでいます。挫けず、今こそ皆でセントポールテニスクラブの伝統を守ろうではありませんか。一、二年どころで落ちて我慢、辛抱です。解決の一つの方法は体育会系のセレクションで何人か入れて下さる事でしょう。皆でこの難局を乗り越えましょう。

#### 理事長挨拶

S 49年卒 浅見 豊

今年のリーグ戦は、男子4部4位、女子2部降格という残念な結果でありました。この紙上で皆様に来年こそは男女同時昇格を果たしますと宣言したいところですが、現実には非常に厳しいものがあります。

5・2・0、1・3・5この数字は男子、女子の3年、2年、1年生の部員数であります。昨年もご報告したことです。体育会全体が部員減少に悩む中、テニス部もまた例外ではありません。今年も栗原先生のお力で新入学生のリストから、高校時代の部活がテニスという学生180名に勧誘パンフレットを送付し、また驚田監督が熊本のインターハイへ鈴木監督が札幌・仙台へ立教志望高校生・

部長とコンタクトするなど日々の仕事が多忙な中、選手勧誘の為に東奔西走していただきました。自由選抜入試制度を利用したこの選手勧誘も平成7年より中島君を中心に鋭意努力し、他部より先行したこともあり、過去女子11名、男子1名の合格者を出しましたが、他部も力を入れているので今年是一次試験の段階で男子2名の合格のみという狭き門になりました。

又、男子に限ることですが、昭和40年代に体育会推薦入学が廃止されて以来、部の中核を成してきた立教高校テニス部出身者がここ2年入部0というのも大問題であります。今春入学の一年生は立教中学時代全国中学優勝メンバーですが、上位3名が大学へ進学できませんでした。また、3年前の全国高校選抜ベスト8のレギュラー上位3名がやはり立教に進学できず、明大他へ進学。明立戦で明治のレギュラーとして活躍しております。

この現実立教高校OBとして無然たる気持ちで一杯です。ただ今後は、全員立大進学立教池袋高校が創設され、立教新座高校もそれに倣う方向のことなので(今更遅いと言いたいところをぐつと堪えて)一筋の光明が見えたと考えています。

来年度のリーグ戦は、8月下旬のこと、若干の猶予を与えられまし。現役諸君の更なる飛躍とOB・OG皆様のご健康、ご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。今後共皆様方の尚一層のご支援を賜り度くお願い申し上げます。

#### 平成13年度事業計画書

(自平成13年4月1日～至平成14年3月31日)

5月23日	第1回理事会(セントポール会館)
5月26日	第1回中・高・大学レギュラー練習会(新座)
6月16日	第6回定期総会(松本楼)
6月	関東高校選手勧誘視察(東京)
8月	インターハイ選手勧誘視察(熊本)
10月	第2回理事会
10月	第2回中・高・大学レギュラー練習会(池袋)
11月23日	小・中・高・大 合同練習会
12月1日	All Rikkyo Tennis 発行
12月2日	納会(池袋キャンパス・白雲閣)
2月	第3回理事会
3月	リーグ戦激励会

#### 平成13年度会計予算

(自平成13年4月1日～至平成14年3月31日)

収入の部		
科目	予算額	摘要
1. 年会費	3,000,000	10,000×230 7,000×100
2. 総会 納会 会費収入	800,000	総会 納会 激励会出席者会費
3. 雑収入	200,000	寄付金 広告費 受取利息等
当期収入合計	4,000,000	
前期より繰越金	123,455	
収入合計	4,123,455	

支出の部		
科目	予算額	摘要
1. 現役強化費	1,620,000	
①ボール代	(300,000)	
②合宿援助	(500,000)	男子部 300,000 女子部 200,000
③コート維持費	(100,000)	砂代他
④勧誘費	(300,000)	インターハイ視察等
⑤1部リーグ戦コート費	(120,000)	昭和の森テニスクラブ
⑥その他	(300,000)	監督コーチ交通費、フジカルコーチ費等
2. 会合費	1,000,000	総会 納会 激励会費
3. 通信費	400,000	案内通知等
4. ART作成費	150,000	ART 作成費
5. 諸会費	50,000	OBクラブ 監督部長会 合同練習会等
6. 交通費	10,000	現役マネージャー交通費
7. 雑費	100,000	コピー代 封筒代 文具代等
8. 手数料	60,000	年会費自動振替手数料 振込料
9. 積立金	200,000	コート付帯設備準備金
10. 予備費	100,000	その他不足分補助 慶弔費
当期支出合計	3,690,000	
次年度繰越金	433,455	

#### 平成12年度事業報告書

(自平成12年4月1日～至平成13年3月31日)

6月13日	第1回理事会(セントポール会館)
6月17日	第5回定期総会(松本楼)
6月10日	関東高校選手勧誘視察(水戸)
8月5日	インターハイ選手勧誘視察(岐阜)
10月5日	第2回理事会(セントポール会館)
11月23日	小・中・高・大 合同練習会
12月1日	All Rikkyo Tennis 発行
12月3日	納会(池袋キャンパス・白雲閣)
2月19日	第3回理事会(セントポール会館)
3月17日	リーグ戦激励会

#### 平成12年度決算報告書

(自平成12年4月1日～至平成13年3月31日)

収入の部			
科目	予算額	決算額	摘要
1. 年会費	3,000,000	2,491,000	10,000×198 7,000×73
2. 総会 納会 会費収入	800,000	638,000	総会 納会 激励会出席者会費
3. 雑収入	200,000	130,309	7-ト広告費 他
当期収入合計	4,000,000	3,259,309	
前期より繰越金	110,848	110,848	
収入合計	4,110,848	3,370,157	

支出の部			
科目	予算額	決算額	摘要
1. 現役強化費	1,720,000	1,637,158	
①ボール代	(300,000)	(338,688)	男子部 141,120 女子部 197,568
②合宿援助	(600,000)	(600,000)	男子部 400,000 女子部 200,000
③コート維持費	(100,000)	(93,870)	砂代
④勧誘費	(300,000)	(249,350)	インターハイ視察等
⑤1部リーグ戦コート費	(120,000)	(120,000)	1部リーグ戦 昭和の森
⑥その他	(300,000)	(235,250)	監督費 他
2. 総会・納会費	1,100,000	897,865	総会 納会 リーグ戦激励会費用
3. 通信費	400,000	419,737	案内通知 名簿発送費等
4. ART作成費	150,000	110,000	ART作成
5. 諸会費	86,000	44,000	OBクラブ分担金等
6. 交通費	10,000	0	現役交通費
7. 雑費	100,000	67,525	コピー代 封筒代 文具代等
8. 手数料	60,000	54,667	自動振替手数料 振込料
9. 積立金	200,000	0	コート付帯設備準備金
10. 予備費	100,000	15,750	慶弔費等
当期支出合計	3,926,000	3,246,702	
次年度繰越金	184,848	123,455	

積立金			
科目	予算額	決算額	摘要
定期預金	400,000		第一勧業銀行池袋西口支店
定期預金利息		545	第一勧業銀行池袋西口支店

#### 平成13年度役員

氏名	卒年	職名
山中 博司	36	会長
森野 昌子	31	副会長
田西 一紀	36	顧問
小松 平	37	顧問
田中 能徳	38	顧問
淡路 剛正	15	顧問
浅見 豊	49	理事長
林田 千史	43	副理事長
梅田 憲	50	副理事長
倉光 純	38	理事
広瀬 省蔵	40	理事
川上 浩子	40	理事
出口 誠之	42	理事
原 正哲	42	強化本部長
倉原 俊彦	42	強化本部長
佐藤 幸彦	43	強化本部長
中島 幸彦	50	強化本部長
鈴木 裕宏	52	女子部 監督
吉川 裕典	52	総務
秋元 英晴	53	男子部 監督
原田 豊	54	会計
坂井 孝	54	総務
藤井 信	57	会計
立花 雍一	32	監事
八木下 紗絵子	36	監事
藤井 孝信	59	男子部担当
山田 祐介	H2	男子部担当
村田 博史	H10	男子部担当
岡田 利之	H10	男子部担当
熊田 隆史	H10	男子部担当
大高 隆一	H10	女子部担当
清和 一郎	63	女子部担当
岩本 美幸	63	女子部担当
増田 ちえり	H12	女子部担当
	H13	女子部担当

# 平成13年度 関東大学テニスリーグ リーグ戦結果

### 男子 平成13年度 4部リーグ戦結果

	東海	城西	上智	立教	学習院	東京	勝敗	順位
東海大学	-	9-0	9-0	9-0	9-0	9-0	5勝	1
城西大学	0-9	-	7-2	7-2	5-4	5-4	4勝1敗	2
上智大学	0-9	2-7	-	5-4	6-3	6-3	3勝2敗	3
立教大学	0-9	2-7	4-5	-	7-2	5-4	2勝3敗	4
学習院大学	0-9	4-5	3-6	2-7	-	5-4	1勝4敗	5
東京大学	0-9	4-5	3-6	4-5	4-5	-	5敗	6

### 女子 平成13年度 1部リーグ戦結果

	早稲田	筑波	専修	亜細亜	青山学院	立教	勝敗	順位
早稲田大学	-	4-3	5-2	3-4	4-3	7-0	4勝1敗	1
筑波大学	3-4	-	3-4	5-2	5-2	7-0	3勝2敗	2
専修大学	2-5	4-3	-	3-4	4-3	7-0	3勝2敗	3
亜細亜大学	4-3	2-5	4-3	-	3-4	6-1	3勝2敗	4
青山学院大学	3-4	2-5	3-4	4-3	-	6-1	2勝3敗	5
立教大学	0-7	0-7	0-7	1-6	1-6	-	5敗	6



## 「テニス部を 振り返って」

男子主将  
中山 陽平



今年のリーグ戦が終わった瞬間は、これでテニス部を引退するという実感が全くわきまませんでした。最近になって部員、OBからの連絡が減り、終わったんだと感じさせられます。

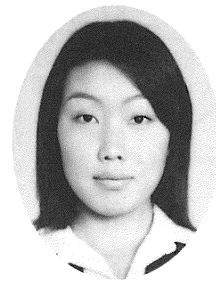
テニス部を振り返ると、たくさんの方が思い出されますが、やはり負けた試合というのが一番印象に残っています。「あの試合あと一ポイント取ってたら入替戦だったなあ」とそんなことばかり浮かんでいきます。

主将という大役を引き受けた一年間は貴重な経験でした。一日たりとも心を休めた記憶がありません。毎日毎日問題は山積みで壁の連続でした。「やめたい」「どうして試合に出してくれないんだ」「あの言い方は違うんじゃないか」などなど主将だから味わえたことはたくさんありました。このようなく解決できたことは大きく成長できた点だと思っています。

時には厳しく、時には私のおまかせについてきてくれた仲間感謝です。「テニス部でよかったです」。

## 「リーグ戦を 終えて」

女子主将  
平原二三子



期待と不安を胸に抱え、迎えたリーグ戦。自分達を信じ、100%のプレーを發揮する事だけを考え、臨んだ「一部リーグ」。そして、部員一丸となって「残留」という目標に立ち向かった「入替戦」。

しかし、最終的に「降格」という残念な結果を残す事となった。私達は、自分達の手で勝利を掴む事が出来なかった。もちろん悔いは残る。「一部」という舞台を後輩に残してやれなかった。しかし、後悔はない。様々な出来事を全員で乗り越えながら、私達は精一杯やり遂げた。私は忘れない。

自分達の可能性を信じ、切磋琢磨し合い、無二の一球を追いつけた事を。後輩達も忘れないで欲しい。そして、入替戦のあの日、みんなで流した涙を。

この四年間本当に様々な事があった。喜び、怒り、泣き、笑い。これら一つ一つは本当に貴重な経験であり、私の人生の糧となるだろう。そして、何よりも一番の財産は、このテニス部で素晴らしい仲間と出会えた事だ。

最後にになりましたが、暖かく指導下さいました鈴木監督をはじめコーチの方々、先生方、諸先輩方から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 「立教テニス部」

男子主務  
豊住 浩史



立教テニス部に出会った時のことを思い出します。富士見でリーグ戦を観戦したとき、「なんだ？」という異様な雰囲気がありました。「テニス」という紳士的なイメージはなく、コートは戦場と化していました。それを見

たからこそ部活にはテニスを真剣にできる環境があり、存分にテニスができると思っただけです。この思いは叶い充実した四年間を過ごすことができました。一生懸命強くなろうとしている後輩の姿に、目標に向かってがんばった自分を重ねて見えています。しかし立教テニス部として個人としての結果に満足はしていません。

だからこそテニスが好きでいられると思えます。まだ試合では負けたくないという気持ちがあります。そして試合をするときのあの気持ちを忘れることはできません。OB、OGの皆様、四年間本当にありがとうございました。

だからこそ自分もOBとして現役を支援していきたいと思えます。最後に後輩達に、「俺達についてきてくれてありがとう。そしてテニスを思いっきり楽しんで下さい。」

## 「四年間を 振り返って」

女子主務  
松井 綾乃



大学でもテニスを続けようと思ったし、立教大学のテニス部の門を叩いたのが四年前。長くもあり、今振り返ってみると、あっという間の四年間でした。入部してすぐのリーグ戦で、私達は一部昇格を果たしました。しかし、最後のリーグ戦では、応援して下さったみなさまの期待を裏切る結果となってしまう、幹部として大変申しわけなく思っています。ですが、あの追いつめられた状況のなか、部員全員やれることは全てやったという充実感もまたあります。あの時の悔しい思いが、後輩達の糧になってくれることを願っています。

また幹部として、私は主務という大役をまかせて頂きました。つらいこともたくさんありましたが、何よりも、OB・OGの方々と接する機会が増え、多くのことを学ぶことができ、私にとって大変プラスになりました。最後にになりましたが、私達を暖かく見守って下さった諸先輩方、共に支え合った同輩達、ついてきてくれた後輩達に心から感謝しています。ありがとうございました。

## 「最後の四年間」

女子副将  
山野 潤子



四年間を振り返ると、私はテニス部というとても大きな船に乗って様々な経験をさせてもらったという思いでいっぱいである。

一部昇格の瞬間を経験した一年生、チームをつくるということがどんなに難しいことなのかを学んだ二年生、先輩のために頑張った三年生、自分との戦いであった四年生と、様々な時期を経験してきた。

特に、昨年と今年のリーグ戦は一生忘れないだろう。監督、コーチ、四年生はじめOB、OG、三年生、下級生までもがオーダーだけでなくチームに

関して意見を活発に交換し合った。まさに立教ファミリーというこのような体制がなければこれからのことは円滑には進まなかっただろう。後輩達にもそういつた意味での立教らしさを持って、皆がチームのことを常に考え、自分がやるべきことを明確にしていてほしいと願う。

最後になりましたが、OB、OGの皆様のお力添えでこのような素晴らしい環境のもとでテニスができることを心から感謝致します。四年間有難うございました。

### 新幹部紹介

新男子主将  
宇賀神 直



本年度主将を務めることになりました法学部国際比較法学科3年宇賀神直です。宜しくお願ひします。忘れもしない5月13日、新座キャンパスのテニスコートで前主将の中山さんの口から新主将として僕の名前が呼ばれました。早いものであれからもう半年が過ぎました。

さて9人もいた4年生が抜けて部員の数が著しく減ってしまいました。これまで苦楽を共にしてきた同期の4人、自分以外の同期が辞めて独り取り残されたにも関わらず弱音を吐くことなくついてきてくれた橋。たった一人の後輩ですがこれほど頼もしい奴はおそらく何処を探してもいないと思います。そして十一月から新たに加わった2年生の中野。確かに人数は少ないですがこんなに素晴らしい仲間恵まれてます。この結束力に更にOBの方々の支援も加わった立教テニス部はかなりの力を発揮し必ず皆様の期待に応えられることと思ひます。色々と思ひますがどうか本年度も応援その他宜しくお願ひします。

新女子主将  
廣瀬 睦子



本年度、主将を務めさせて頂くことになりました。観光学部観光学科三年廣瀬睦子です。宜しくお願ひ致します。

昨年度のリーグ戦では、皆様の御声援に出来ることとができず、東海大学との入替戦でも三・四というスコアで惜敗し、自身自身の力不足を痛感したものでした。今でも、その時の悔しい思いは忘れられません。

今年、昨年度の主力選手だった四年生が抜け、戦力がかなりダウンしている状況で、昨年度以上に厳しい戦いが予想されます。しかし、やるからにはチーム一丸となって相手に立ち向かっていきたいと思ひます。

お忙しい事と思ひますが、お時間のある方におかれましては、是非コートの方に足を運んで頂ければと思ひます。同期の女子部員がいなく、何かと力不足なところもありませんが、残りわずかとなりますが、現役生活を一杯頑張りたいと思ひますので、今後とも皆様の御指導の程、宜しくお願ひ致します。

新男子主務  
生島 史浩



本年度、主務を務めさせて頂くことになりました。経済学部経営学科三年の生島史浩です。よろしくお願ひ致します。

今年度のリーグ戦では最終戦の城西大学との試合に勝てば三部との入れ替え戦に出れる所まで行きましたが惜しくも敗れ、結局四部の四位という不本意な結果に終わりました。今年、四年生九人が引退し、さらに一年生が誰も入部せず総勢六名で部活をスタートすることになりました。最初は何かと慣れない所もありましたが、人数が少ない分チームの結束も強まり今では一人一人が高い意識を持って日々練習に取り組んでいます。

来年度のリーグ戦が九月になり、僕達にとって残り一年近くもありません。選手として主務として少ない人数ではありませんが自分の出来る限りのことをして部を盛り上げていこうと思ひます。そして、来年度のリーグ戦ではOB・OGの方々の期待に答えられる結果を残したいと思ひます。今後とも是非よろしくお願ひ致します。

新女子主務  
中條奈保子



本年度、主務を務めさせて頂くことになりました。法学部国際比較法学科二年の中條奈保子です。よろしくお願ひ致します。

本年度のリーグ戦は残念ながら二部降格という残念な結果に終わりました。部員一同非常に悔しい思いを致しました。しかし、現在の戦力は正直言って二部の中でも互格に戦えるかどうか不安な状態です。このような状態から一部昇格を果たすチームを作ることは至難の技と思われまます。しかし、次のリーグ戦までには何とかして一部昇格を果たせるチームを作り、二部降格という悔しさを晴らしたいと部員一同考えております。

又自分が主務になり、初めてテニス部というのは現役だけではなく、OB・OGの方々の力があってこそ成り立つものであるというのを知りました。部員数は非常に少ないですが、私達にはたくさん先輩方が応援して下さい、来年度のリーグ戦でOB・OGの方々の期待に答えられる結果を残すので、今後とも宜しくお願ひ致します。

### 新入生紹介

経済学科  
一年 黒崎由紀子

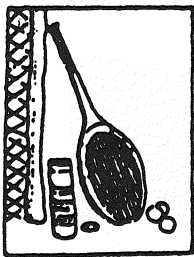


私が硬式テニスを本格的に始めたのは大学に入ってからです。まだ始めて一年にもなりません。が、恵まれた練習環境と監督・コーチの丁寧な御指導の御陰で大分上達しました。また、日々の練習や合宿などを通して、同期の仲間とはとても仲良くなりました。お互いに愚痴を言い合いながらも楽しくやっています。大学では広く浅くといった関係が大半を占めるので、このような交友関係が築けることはたいへん貴重だと思ひます。その他に大学で実感したこと、自分の時間が多いうことです。そのため時間をどう使うかによって充実した学生生活を送れるかどうかが決まってくると思ひます。私の場合、入学後やりたい事が見つかっていなかったのですが、部活の定期的な練習の御陰で怠惰な生活を送ることもなく、体力的にも精神的にも鍛えられていきます。今後はリーグに向けて練習が厳しくなっていくことが予想されますが、学業と両立させながら楽しくテニスを続けていければと思ひます。

経営学科  
一年 佐々木ひとみ



大学に入って、今までやってきた長距離走から新しいスポーツに挑戦したいという思いからテニスを始めました。テニス部を選択した理由としては、春の入れ替え戦を見学させていただき、先輩方のプレーに圧倒され、自分もこのような方々とプレーしてみたいと思ひたことです。実際入部してみると、あれだけの技術はそう簡単には身に付かず、その裏には想像以上の練習と経験があることを知りました。私は、長距離走をやってきた中で鍛えられた精神を忘れずに持ち続けて部活動をこなしていきたいと思います。また、本来のスポーツを楽しむという事も忘れずに、どんな時も明るく元気に部活動に取り組みたいのです。とにかく今は、テニス未経験という身で体育会硬式テニス部に所属してしまっただけ(!!)自分の無謀さを冷静に受け留め、少しでも早く腕を上げていくように努力していくことを常に頭にに入れて取り組んでいきます。



#### 営業品目

電磁鋼板・各種鋼板の販売  
スリット・シャー・プレス加工

株式会社 三誠商會  
SANSEI SHOKAI CO.,LTD.

代表取締役社長

出口 誠之 (S42卒)

〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り1丁目2番7号

TEL. 047-353-4411  
FAX. 047-353-4412



### 公和自動車交通株式会社

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3番3号

電話 (3269) 3281番(代表)

(36年卒 山中 博司)

#### 日東の防火水槽

ボックスカルバート・ニューウォルコン  
BiG-u ・ ロングu ・ 緑化ウォール



### 株式会社 日東

三町 令子・原田 正明 (S42年卒)

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-7-1

TEL 0492-83-5181(代)  
FAX 0492-83-5186



ドイツ文学科  
一年 鈴木 郁絵

テニスをやり始めたのはこの部に入ってからで、私の通っていた中学・高校には硬式テニスというものがなく、今まで疎遠のスポーツでした。大学に入ったら是非やってみたいという強い気持ちがあったわけではありませんが、初めての試合を見学させていただいた時に見た先輩方のプレーに魅了され入部してしまいました。理想と現実のギャップは激しくてまだまだ思う様にプレーできず、入部当初よりネットやアウトの回数は減ったもののフォームは崩れやすいし、ボールの動きを見極められずに納得のいくボールを返せるのは稀という状況です。今は思い通りにいかず、辛いと思いますが、上達すればする程もっと楽しくなるはず、という思いを秘めて練習に取り組んでいます。テニス経験の豊富な同期から得るものは大きく、テニスへの関心は増しました。様々な気持ちが悪く、向上心を忘れずに前向きにやっていきたいです。



理学部化学科  
一年 杉田美奈子

私が、真剣にテニスを始めたのは、高校の時です。それ以前にもやっていましたが、趣味で週一回テニススクールに通う程度でした。週一回のレッスンでは、物足りなくなくなり、高校ではテニス部に入りました。部活のおかげで充実した三年間を送ることができたので、大学に入ってからにも部に限らず、何らかのサークルには所属しようと決めていました。最初は、体育会に入るなんてことは全く考えていませんでした。偶然、テニス部が一部リーグであることを知り、興味本位で練習を見学しにいき、今までに無かった緊迫感のある部活の雰囲気、倒されたけれど、そのような環境に身を置いて練習をするのも、いい経験になるかもしれないと思いつき、入部を決めました。



コミュニティ福祉学科  
一年 油木 淳子

私がテニスを始めたのは、中学二年の頃だ。その頃、腰を痛め、それまでやっていた器械体操ができなくなってしまうので、その代わりに遊び程度に始めた。なぜテニスを選んだかというと、母もテニスをやっていたので、同じテニススクールに通い始めたからだ。その後、中学生の間は週に一度のペースで遊び感覚で通っていた。しかし高校生になると、テニスに興味を持ち始め、学校から帰った後や土日など週に何度も通うようになり、段々上達することが楽しくなってきた。と同時に学年も上がり、受験の準備をしなければならなかったため、高二からは再び週に一度のペースで通うようになった。この頃は、大好きなテニスを我慢しながら勉強しなければならなかった。今でもよく憶えている。そして大学に入った今、好きなだけテニスができる環境にある。初めは、それだけで楽しかったが、体育会ということもあり、時々それが嫌になってしまうこともあるが、受験の時も持っているテニスに対する気持ちを忘れずに頑張りたいと思う。

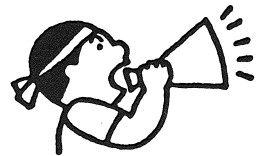
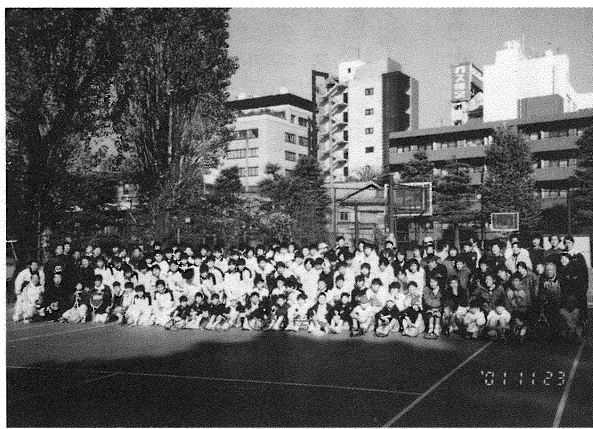
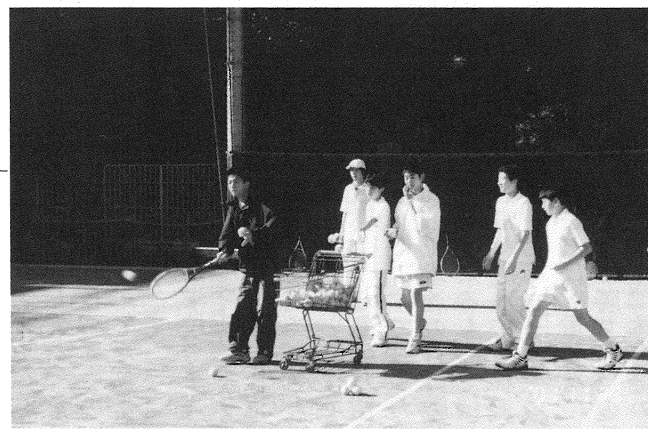
リーグ戦激励会

去る三月十七日(日)池袋キャンパスにて第三回リーグ戦激励会が、多数のOB・OGのご参加をいただき開催されました。曇空の寒い一日でしたが現役対OB・OGの白熱した対戦が展開されました。テニスの後は、池袋「ハバナクラブ」で激励会が行なわれリーグ戦での必勝を誓い合いました。



小中高大  
合同練習会

去る、十一月二十三日(金)、立教小学校より、大学までのテニス部合同練習会が池袋キャンパスにおいて開催されました。コート陣の熱心な指導により充実した一日となりました。参加した高校生以下の生徒達には、一人でも多く大学テニス部に入ってくれる事を期待しています。



ポスター・カタログ・パンフレット等  
カラー印刷物のご用命は



和宏印刷株式会社

〒115-0051 東京都北区浮間5丁目17番20号  
TEL 03 (3969) 9 4 8 1 (代表)

浅見 豊 (S 49年卒)

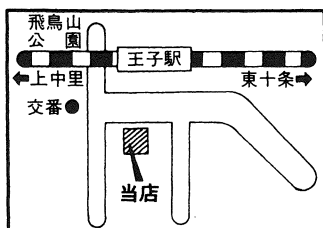


アイファッションと難しいメガネの専門店

王子メガネ

〒114-0002 東京都北区王子1-9-1 電話 3913-1549

48年卒 内原 康雄



(各種コンタクトレンズ取扱っております)

テニスを通じて  
コミュニケーションをめざす

テニスに情熱のある社員コーチ・アルバイトコーチを募集しています。(女性コーチも大歓迎)  
下記ファミヤスポーツ本社までお問い合わせ下さい。

ファミヤテニスショップ  
池袋店(西武百貨店8階)  
Tel.(03)5992-8943  
新宿店(伊勢丹百貨店新館6階)  
Tel.(03)3352-0124  
品川店(品川プリンスホテル内238)  
Tel.(03)3447-3068  
外販部(高井戸インター横)  
Tel.(03)5316-1633

ファミヤテニススクール  
相模園会場(京王線仙川)  
Tel.(03)3307-9203  
トムインドア会場(中央線豊田)  
Tel.(0425)85-0201  
横浜インドア会場(横浜線大口)  
Tel.(045)401-5611  
スバ白金会場(港区白金台)  
Tel.(03)3444-5811  
市川会場(京葉線市川塩浜)  
Tel.(0473)99-8383  
高井戸会場(京王井の頭線高井戸)  
Tel.(03)3333-7842

あなたのテニスコンサルタント  
ファミヤスポーツ

〒168-0081 東京都杉並区宮前2-14-28  
TEL 03(5930)8881  
FAX 03(5930)8882

## 小西先輩 第63回全日本 ベテラン選手権 60歳以上単複制覇!!

S 37年卒 小西 一三

立教テニスOB・OGの皆さん、久しぶりにご挨拶が出来る事を嬉しく思います。

学生諸君の活躍は毎月練習日程・試合報告等を送っていただき楽しく拝見させて頂いております。このたびは私事ながら全日本ベテラン選手権六十歳以上の部で単複優勝いたしました。そのコメントを今回掲載頂けるとの事、感謝いたしております。

二十一世紀最初の大会となる今大会は三十三回を数え、男女単複三十五歳から七十五歳までのクラスが行われ、延べ八百四十七名にのぼる「ベテラン」選手が参加されました。

戦の連続でした。シングルスは二Rからつれ、何とか勝利を収めました。(6-1、3、4、6、6-1、4)

三Rは3-6、6-1、1とセットオール後、ファイナルセットは5-6と二週間、オーストラリアのワールド選手権の個人戦・団体戦に出場。六月には関東選手権に出場、シングルス準優勝。

この一本のシヨットのお陰で、続くセミファイナル(7-5、6-1、1)を制し、最終的に優勝することができたのだと思えます。

ダブルスは広瀬均氏と組み、五十六歳以上・六十歳以上と続けてきた通算四連覇がかかっていました。ファイナルではシングルの試合後ということに疲れもあり、大苦戦を強いられましたが、広瀬氏にも助けられ、なんと7-6、6-7、6-3というスコアで、辛うじて四連覇を達成することができました。

若い時と違い、酒量も減らし、練習は週二回程度で決まっています。度々決まっています。

しかし、三月にIC大会で約十日間インド遠征四月から五月にかけて二週間、オーストラリアの世界選手権の個人戦・団体戦に出場。六月には関東選手権に出場、シングルス準優勝。

さて、今後も目標と夢を持ち続け、意外性を大切に、常に新鮮な気持ちでテニスを楽しんでいると思う今日この頃であります。

最後に現役学生の皆さんにひとこと。現役のみならず健康な身体を維持し、人に感動を与えるスポーツを自分自身で楽しむ、さらには後輩の方々に伝えていくことが大切だと思います。



## OB・OGの声

### 「テニスと私」

S 38年卒 倉光 純

私がラケットを始めて握ったのは、今から五十年前テニス選手であった父が連れて行ってくれた当時米軍が東京・横浜に作った。その頃の二国は自動車、本格的にテニスをすることとなったが、部員が多く更にはコートも一面しかなかった。毎日練習に参加しても十分打てない日々であった。ボールもすぐ擦り減ってしまい、水につけてフェルトを毛羽立ててはまた使うといったことの繰り返しであった。今の学生からすると想像のつかない世界であろうと思う。

それでも中学三年の時にはラッキーにも田口君と組んで関東中学選手権にダブルスで優勝できた。その後高校、大学と順調に進み、良き同僚、先輩、後輩に恵まれテニスも卒業の時にはなんとオーストラリアのランキングを貰うまでになった。就職にあたっては、テニスが続けられるような企業からのお誘いもあったものの、日本航空に就職することになった。幸いにも職場がシフト勤務であったため、練習時間にはこと欠かなかった。

その結果オールジャパンには卒業後四年間も出られない環境には大変申し分のない会社であった。日本航空に入社後は四度の海外駐在を含め学生時代のテニス一途による不勉強から大変苦労はしたものの、テニスを通じての人との繋がりが、学生時代の不勉強というハンディキャップを補う以上のものであり、会社でもそれなりのポジションを頂けたのは全てテニスのお陰と言っても過言ではないと思う。一時、勤務地との関係もあって、テニスを中断したものの、今は妻とのコミュニケーションと自分の健康管理のために、ゴルフと庭弄りの合間にテニスを続けていて、テニスは自分の生涯の友と思っている。テニスに多謝!

私は一九七〇年に立教中学に入学し庭球部に入りテニスを始めました。以来、十年間庭球部で青春の時を過ごしました。私の立教庭球部の十年を振り返って、今の自分をみつめてみますと、この十年の経験が私という人間のとても重要な背骨となっていて、ことに気づきます。

私は、勝ちよりは負けの多い選手でした。私は、体育会の意義とは自分のため、学校の勝利のため、努力することと考えますが、

すが、たとえその結果が負けだとしても、その努力や精神は、多くのものを私に与えてくれたと思います。

私達が学校でテニスをしていた時は、テニスブームの前で、特に中学や高校での硬式テニス人口は今より少ない時代で、今の現役の人達が大きな競技人口の中で戦った結果と、先輩達の昔の戦績は比較出来るものではないと常々思っております。

私が社会に出てみてわかったことは、重要なのは学生時代の勝ち負けの結果ではなく、体育会の一員として、勝つために一杯努力したという経験を持っているということでした。

私は社会人になってからかつて体育会で真剣にテニスをした人間として、数多くの人から評価してもらいました。立教庭球部での十年は、これからの私のバックボーンです。

### お弁当、オードブルの宅配、仕出し承ります

各種会合、祝儀仏事、会議、イベント等にご予算ご希望に応じて調製致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

メニューご希望の際はすぐお届け致します

## お弁当ステーション 椿

豊島区南長崎1-17-18

TEL. 03-5983-8169 FAX. 03-5983-8179

営業時間 Am 9:00 ~ Pm 9:00 年中無休

(昭和54年卒 秋元 英晴)

流動性のある画期的な理髪士材  
流動化処理土 製造販売  
建設残土のリサイクル



## 三重建材株式会社

梅田 憲司 (50年卒)

本社 〒1174-0043 東京都板橋区坂下3-28-24  
TEL 03-3966-8491 FAX 03-3967-1860  
プラント 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ根根伸通り502-1  
TEL 0489-98-2716 FAX 0489-97-9150

### 特殊電線製造販売 UL・CSA 認可工場

## 愛三電線工業株式会社

本社・工場 〒335-0025 埼玉県戸田市南町5番10号  
電話 代表 048 (444) 2300 番  
FAX 048 (444) 2302 番  
東京連絡所 〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目7番7号  
電話 東京 (3832) 0664 番

(昭和54年卒 原田 豊)

変わらない。  
シアトルマリナーズのイチロー選手は私の尊敬するスポーツ選手の一人だ。彼が後ろ向きな発言をしているのを見た事がない。彼の言動もさることながらあの鋭い眼差しは現役選手にも是非習って欲しい。

私が現役時代、某先輩に「心技体」という言葉を教えていただいた事がある。「技」や「体力」を磨く前にまず「心」を磨けという教えである。今立教テニス部は、かつてない試練の時を迎えている。まずは部員一人一人が逆境を跳ね返す、強い「心」を磨く事を意識してみてはどうか。

「宝」

H12年卒 齋藤 征爾

私が現役時代、主務をさせて頂いた時にOBの方から言われた言葉があります。「テニス部の現役でいられる時間は4年間だけだけれども、OBである時間はその何倍以上でもあるのだ」と。

これを私は「現役時代4年間での経験は今後も一生忘れない、また自分の中で生き続けていくもの」と解釈しております。

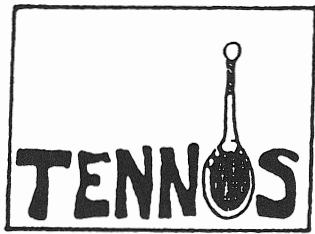
私が社会人となった今でも大事にしていることは「結果を出すために重要なことはまず、自分自身の力を存分に発揮すること」という考えです。

自分自身の力を発揮するためには自分には何が出来るかを分かっているか、や、対抗戦等数多くの試合を出てきた試合というの

はプレー中も自然体でいることができ自分が見えたいように思っています。リーグ戦のような極限状態でプレーできた経験により、私は逆境のときに自分は何ができるのかを学ぶことができ、また、それは私の宝でもありません。

現役の皆さんにもテニスの技術にしろ、人をまとめる力にしろ、どの分野でも構わないので胸を張って自信が持てるもの一つでもいいから見つけてほしい。しかし、それはそう簡単には見つからない。自分が目標に対して死に物狂いになり、時には失敗もし、悩んだ挙句に見つかるかどうかというものです。しかし、それは一生持ち続ける宝になることは間違いありません。

私もまだまだ未熟ではありますがですができる限り多くの先輩が宝を見つけてくれるよう支援、指導を続けていきたいと思っております。



「素敵なお年より」

S43年卒 片山 康子

「素敵な色ね…」  
「大分編めましたね…」  
「次は、私も帽子を…」  
編物の日のお年よりの会話がはずむ。先生は七十過ぎの編物のベテラン。ボランティアで教えて下さる。生徒は七十、八十過ぎのおばあちゃんばかり。私はその中に一人若者(?)ながら入れている。

八十過ぎて初めて本格的に編物をなさるようになったお年よりは帽子、ベスト、セーターと一つ一つ出来るごとにとてもうれしそう。次はどんな色で編もうかしらと楽しみが増える。今まで同居の娘さんが構ってくれないと言っておられたが一日一日進むうちに夢中になって余計なことを考えなくなると言われる。

「若い頃は子供たちの洋服も編物も全部手作りしましたよ。今は何も出さなくて」と日に何回もおっしゃる方が先生に教わりながら編まれるナイロンだわしはともきれいで、しっかりした物。手が覚えていくのだらう。耳が少し遠くなられた方は「ボケてしまっ」とおっしゃりながらも生活の知恵から世界情勢、健康、昔のことなど話題が豊富である。

最近保健婦さんから痴呆予防のお話を聞いた。①健康管理②規則正しい生活(睡眠、食事)③身体を使う④頭を使う⑤趣味を持つ⑥人との交流

私は昔テニスで鍛えた体で健康には自信があった方だが最近ではがたがたり、物忘れをしたり、皆さんのように素敵に年を重ねたいと思っている。

「やはり仲間はいいものです」

H12年卒 増田ちえり

先月、私の3年上の岩本先輩、1年上の岩本先輩の結婚式がありました。柳先輩からは2次会にご招待いただき、岩本先輩からはチャペルの式から3次会までご招待いただき、両日ともお天気が良かった、特にフル参加させていただきました岩本先輩の結婚式は我が母校の立教大学のチャペルにて盛大に行われておりました。ご招待いただき、岩本先輩のお式では、私の2年先輩の吉田先輩・星野先輩から1年後輩まで集まり、岩本さんのお祝いに駆けつけながらも、せめていただいたように思っています。在学中は毎日のように顔を突き合わせていた仲間とも、仕事の都合などで遠方に点在したりと中々会えないのが実状であり、こういって顔を見て席で懐かしい顔を嬉しむ事だけだと実感しました。また、岩本さんの結婚式2次会ではテニス部現役も参加していたようで、学生時代になかなか経験できないことですが、現役の皆さんにとっても良い社会勉強になったのではないかと思います。

現役の皆さんから発信して頂いている情報から、昨今の体育会離れがかなり深刻であるように私自身強く感じておりますが、卒業して未だ2年程の私でさえ、大学時代に寝食を共にした友人たちとの再会には貴重であり心の糧となるのですから、少数精鋭ではありますが現役皆さん方にも今の環境や仲間達を大切にしながら日々精進していかってほしいと思います。

中学・高校通信

新座中・高テニス部

(中学校部長 平山 晋)  
中学では、現在1年40名、2年28名の部員を抱え、月・水・金は3:40~5:00、土は8:30~11:30で練習を行っている。戦績は個人戦では、同地区に新座六中や個人参加の関東・全国レベルの選手がひしめく中、新人大会で地区大会ダブルス3、5位、県大会でもダブルスでベスト8進出を果たした。団体戦でも新人大会で県準優勝を果たし、関東大会に進出し、1回戦を突破した。団体戦での全国大会出場を目指し、頑張っていく。

(高校部長 武田麻里子)  
高校では、2年生26名、1年生24名で火・木・金(3:30~6:00)・土(1:00~5:00)に練習を行っている。10月に開催された新人戦において、個人戦では、県大会ダブルス優勝(五味晃一・神山直樹)・4位入賞(服部剛士・大島光博)を果たした。団体戦では、部員一丸となって健闘したものの、準決勝にて伊奈学園に敗退し、関東大会進出はならなかった。中学同様、団体戦に全国大会出場という目標を達成すべく、精進したい。

池袋中高テニス部 だより

顧問 西村博文(高校担当) 重原康秀(中学担当) 原 真也

部員数  
高校2年生 一八名  
高校1年生 一七名  
中学3年生 一九名  
中学2年生 一八名  
中学1年生 一六名

最近の戦績  
都新人個人S 本戦出場  
都私学団体戦 出場中

中学  
都団体戦 準優勝  
関東団体戦 第五位  
全国団体戦 ベスト8  
都新人団体 三回戦進出

顧問より  
池袋中高庭球部が発足し2年目を迎えた。学年定数の半減から部員数の減少が懸念されたが、幸いにもその点には恵まれ、活気ある活動を持続できている。特に高校庭球部はようやく二学年が揃い、顧問の指導と部員の自主的な運営の両輪でチームが前進しており、これからの活躍に期待がかかる。中学庭球部もチーム全体の力をもって全中では八強まで進出する事が出来た。朝日生命スポーツセンター、立大庭球部員をはじめ、部活動を支えて下さっている方々に感謝を申し上げます。(重原)



立教大学体育会テニス部男子名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校
4	経済	経営		中山 陽平	札幌旭丘
		コミ福		豊住 浩史	都立小石川
	社会	国比		猫橋 拓郎	立教
		産関		山内 寛人	立教
3	経済	経営		伊藤 考允	立教
		産関		戸田 淳	武相
	社会	国比		富田 祐司	立教
		国比		富張 泰正	立教
2	法	国比		前田 尚志	都立駒場
		国比		宇賀神 直	立教
	経済	経営		生島 史浩	錦城
		経営		四家 健司	県立磐城
経済	経営		真鍋 隆士	郁文館	
	経営		飯島 隆太	立教	
2	観光	観光		橘 勇太	県立宇治山田商業
		経済		中野 太郎	立教

立教大学体育会テニス部女子名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校
4	経済	経済		平原 二三子	新潟明訓
		法		松井 綾乃	東北学園榴岡
		観光		山野 潤子	西武台
3	観光	観光	主将	廣瀬 睦子	柳川
		観光	主務	中條 奈保子	富士見丘
2	法	国比	副将	寺岡 祐希子	愛知淑徳
		国比	副務	吉井 悠子	湘南工大付属
1	経済	経済		黒崎 由紀子	浦和一女
		経営		佐々木 ひとみ	川越女
	理	化学		杉田 美奈子	東邦大付属東邦
		独文		鈴木 郁絵	県立海老名
1	コミ福	コミ福		油木 淳子	実践女子
		コミ福			

BREITLING 1884

(昭和55年卒 金原 厚)

フライトリング・ジャパン株式会社

東京支店 〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目2番22号 芝公園ビル TEL 03/3436-0011 FAX 03/3436-0012

大阪支店 〒542-0081 大阪府中央区南船場2丁目6番29号 鶴川ビル TEL 06/271-6114 FAX 06/271-6115

サービスセンター 〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目33番3号 TEL 03/3815-5494 FAX 03/3815-5385

### 平成13年度年会費

## ありがとうございました。

(11月28日現在)

#### <男子>

卒年	OB 氏名 (敬称略)
23	清 隆彦
25	五味淳芳
27	岸本駿二 橋本幸信 一條正志
28	小倉 宏
30	向井昌男
31	森 恵
32	永山勝三 辻本正司 宮岸 武 鈴木有恒
33	川上 岳 藤林勇雄 矢部治道 飯島一雄
	柴田公男
34	瓦林聖児 小田原正直 井上隆二 副島光彦
35	仲井一浩
36	柘植銃次 山中博司 日根野一郎
37	鎗田秀雄 阿部直之 栗田進伍 河野貞夫
	小西一三 安達正純
38	合瀬武久 近藤紘二 田口雅一 橋本 宏
	下村直史 広瀬 武 西宇明男 倉光 純
	松波幹忠
39	高橋道男 石黒 潔 玉置秀雄 伊藤正信
	唐澤靖治
40	井上詔夫 町田昭雄 平井克忠 広瀬省蔵
	田口壮治 末藤朋昭
41	川口隆史 木口久仁彦 稲葉介靖 太田洋一
	赤井清敏
42	倉光 哲 濱野公哉 出口誠之 原田正明
	豊田資朗 昇 文彦 小宮山亮次
43	沢松忠幸 若杉正明 佐藤俊彦 三浦允行
44	占野靖宗 須田健治 志田光顕 小長井 彰
	鈴木国彰
45	宇野 治 佐藤雄三 小沼 進 五十嵐哲男
46	日高啓吾 安田清志 宮下好人 笠原賢次郎
47	加藤雄一 安達幸男 若井新司 中矢真人

48	内原康雄 清水春海
49	今井広幸 武藤憲二 浅見 豊 鈴木徹雄
50	井畑 清 中島幸彦 立野公一 梅田憲司
	大里有二
51	鈴木一広 佐藤信夫
52	鈴木 宏 石上富一
53	山下哲夫 高橋良隆 鷺田典之 井筒浩平
54	鈴木康正 秋元英晴 岩立文雄 加倉井 理
	毛利毅裕 原田 豊 角野俊平 久保勝延
	澗田雅之 渡辺 薫
55	松村隆司 大塚直人 金原 厚
56	谷口秀治 竹石敬之 小川 諭 岸本 誠
57	伊藤久幸 坂井邦夫 高橋宏幸 田鍋文啓
	平山 元
58	庄野俊夫 井上勇人 染谷孝幸 田淵浩史
	竹下喜六 大井洋隆 上杉信久 篠 栄一郎
59	藤井孝信 阿部弘行
60	笠原康司 江川裕雄 高橋守種 横山 浩
	澤井清隆 藤原誠之
61	大岡史直 佐藤昭一 石川 順 山田彰彦
	清宗一男
62	柴原公博 牛込耕二 辻野廣行
63	新谷守夫 鹿浜哲也 高山和則 上杉 佐
平1	武市広治 中島 浩 青山貴志
2	東樹秀明 白寄誠爾 山田 昇 昆野 敦
	田中周作 渡辺正和 篠崎享史 小島敏正
3	戸田雅道 丹司 均 柳内 崇 平井智武
	河村準哉
4	増田哲也
5	保泉 敦 片岡 聡 深澤伯亮 金子 誠
6	後藤 孝 相見典祐 二塚圭介
7	太田 治 中川孝博 千葉素久 小俣光司
8	山崎雄一郎
9	神藤浩史 久々 凌仁彦
10	岡 利之 村木祐介 大熊隆史 吉崎太二
11	高田健太郎 大野潤三
12	真田康志

#### <女子>

卒年	OG 氏名 (敬称略)
36	八木下紗絵子 野田昌子
38	松平紀代
39	笹山俊子 田澤幸子
40	深草宣子 菅原弘子 川上浩子
41	松田弓子
42	杉澤小百合
43	林田千史 片山康子 阿部喜子 斎藤裕美
44	星谷久美 石谷こずえ
45	木本美代子 長濱町子 倉科鈴恵 古庄篤子
47	伊藤美枝子
50	飯塚圭子
52	吉川裕子
53	吉原典子 前山真理 山下実果 小泉恵子
	福田佐智子 高橋久美
54	村田由子 堤 千賀子 山田優子 戸松まさみ
	佐々木恭子 加島美名子
55	黒坂美也子 山下節子 福嶋由起 杉沢 薫
56	浅沼和子
57	坂井裕美 大久保直子 樺沢恵美子
59	後藤悦子 山下真佐子 池田由紀子
	篁 典子 稲田菜穂子
60	服部敦子 永田良子 藤原亜美 岡原佐和子
62	増村真理子 内山麻里
63	上田裕子 平田 恵 小笠原玲子
平1	加藤尚子 岡崎美穂 平島優子 川林智子
3	近藤和子 島田千代 福田佐和子 金丸聡子
	竹山澄子 田島美穂
4	岡本祐子
5	西村恵美 中山洋美
6	吉川明見
7	山崎江津子 藤井智子
8	横田陽子 鈴木麻衣 笹川友紀 落合由希子
9	阿部玲子
10	吉田 涼
11	畠中暁子 金谷美幸



昭和十九年卒半谷裕先輩より貴重なお写真を送っていただきました。以下に先輩からのお手紙と共に掲載させていただきます。

「前略、ますますご活躍のことと存じます。さて同封いたしました写真は、第二次世界大戦に行く庭球部員(私を含めてです)の壮行会の写真です。昭和十八年のものです。写真に写っているのは全員庭球部員です。

また、この秋立教大に作られました戦没者記念碑の除幕式にも出てまいりました。年をとりましたので、なかなか皆様にはお会いできませんが、皆様のますますのご活躍を祈念します。早々」

半谷先輩  
有難うございました



田中 誠先輩  
(昭和二十二年卒)  
平成十三年六月七日

訃報